



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 佐藤敏幸

No.1851

2021年

3月5日

明るい未来に向かって  
強い絆で団結し  
みんなで勝ち取る二一春闘

委員長あいさつ(要旨)



はじめに、組織強化・拡大の取り組みについてです。

今日まで、全ての取り組みを最重要課題である組織強化・拡大に集約することを再認識し、各級機関・組合員と連携を深めながら粘り強く拡大運動を積み上げて参りました。その到達点として、JR東日本・JR貨物会社との一括和解以降一四六名の新たな仲間を国労に迎え入れることができました。これまで御奮闘された全ての皆さまに心から敬意を表します。

組織拡大の展望と条件は、紛れもなく職場に存在しています。現在も続くコロナ禍という状況下で、各職場で何が出来るのかを考え出来ることを一つ一つ実践し合うことが必要不可欠です。

同時に、次世代に国労運動を継承・発展させる責務を果たすために、青年・女性層との学習や交流等の取り組みと、より一層の組織拡大行動を持続的に展開することが、極めて重要な課題です。当面する新入社員対策をはじめ全労働者の組織化に向け、全機関が一九となり共に奮闘し合うことを全組合員に強く訴えます。

次に、安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善を求める取り組みについてです。JR東日本会社は、ポストコロナ社会の構造変化を踏まえつつ「変革2027」実現に向け、経営体質を抜本的に強化し、コスト削減を基本に各系統における効率化施策のスピードアップを強調しています。安全・安定輸送の確立は、JRの社会的責務であるだけに、日々検証する適切なチェック機能と提言活動を強めるとともに、安全が最優先される企業風土の定着と安全のための投資を求めていかなければなりません。

JR各社・グループ企業で働く全ての労働者が、安全・安心して働ける職場環境を築くためにも、「安全・仕事総点検運動」を年間闘争として展開し、抜本的な安全・事故防止対策と労働条件向上の実現に向け全力を挙げていきます。

次に、二〇二一年春闘の取り組みについてです。  
JR各社に国労春闘要求を提出し、回答指定日を三月一日とする二一春闘がスタートしました。コロナ禍の今だからこそ、安心して生活できるベースアップ獲得をはじめとする統一重点要求の前進に向け、職場から交渉体制を精力的に支える組織力を高めるために「一人一要求運動」等を労組未加入者と共に追求する中で、現場長との対話・申し入れなどの取り組みにこだわり、全組合員が肌で感じる職場からの春闘を再生していくことが求められています。

次に、平和と民主主義の課題についてです。  
菅首相は、学問の自由を侵害する日本学術会議への政治介入、過去最大の防衛費予算、憲法審査会での国民投票法改正案の成立に向けた策動など、改憲に向けた強い意欲を示しています。同時に、原発・核燃料サイクル政策を強引に推し進め、世界的潮流に反し核兵器禁止条約への批准を拒否するなど、唯一の戦争被爆国としての役割を放棄する暴挙を繰り返しています。

反動的な菅政権の政治路線と一段と強まる国民生活破壊に対し、立憲主義と民主主義の原則に立ち、国民本位の政治の実現と改憲阻止・早期退陣に向け、広範な勢力のさらなる拡大、市民と立憲野党の本気の共闘体制を図る中で、壮大な闘いとして構築することが求められています。さらに本年は、東京都議会議員選挙、解散・総選挙が実施される諸情勢を迎えるだけに、平和と民主主義勢力を総結集させ、働く者の立場に立ち、護憲の理念を掲げた全候補者の必勝に向け、職場・地域の力を傾注させ闘い抜かなければなりません。

最後にコロナ禍の中、全組合員が改めて「感染しない・させない」という感染防止対策を堅持していくことを再確認し、当面する二一春闘をはじめとした諸要求の実現に向け、共に奮闘することを申し上げ、執行委員会を代表してのごあいさつと致します。

第110回拡大地方委員会開催  
組織拡大・二一春闘勝利へ

東京地方本部は、二月一三日に新橋交通ビルにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を行い規模を縮小して、第一〇〇回拡大地方委員会を開催した。

一三時に山田副委員長の司会あいさつで始まり、委員会議長には山本委員(神奈川県地区本部)、副議長には竹村委員(神奈川県地区本部)を選出した。

鎌田委員長はあいさつで、組織強化・拡大、安全・安定輸送、職場労働条件の改善、平和と民主主義の課題についてあいさつを行った。

次に上部機関を代表して国労東日本本部大沼委員長から、第三八回東日本本部拡大委員会の報告、二一春闘の考え方などのあいさつがされた。

議事に入り、石井書記長から経過報告・当面する闘争方針(案)の提案がされ、討論に入り、九名の委員から、組織強化・拡大の取り組みや、職場代表選挙、女性社員の職場環境問題、要員不足・超過勤務やサ



山本議長 竹村副議長

東京交運労協第29回定期大会

東京交運労協第二九回定期大会が、一月一七日神奈川県箱根町「湯本富士屋ホテル」において新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事前表決による委任を確認し、参加人数を抑えての大会が開催された。

高島康彦(運輸労連)副議長の司会で始まり、大会議長に土屋亮(運輸労連)、副議長に船山明久(私鉄東京)が選出された。

その後書記長集約が行われ、当面する闘争方針が確立した。

次に春闘標語コンクール、組織拡大ポスターコンクールの表彰式が行われた。

続いて、「新入社員対策に全力をあげ、組織強化・拡大を勝ち取る特別決議」「大企業のコロナ赤字論を許さず二一春闘勝利!核のない世界の実現!平和と民主主義を守り発展を目指す特別決議」が全体の拍手で決議され、次いで委員会宣言を採択し、全ての議事が終了した。竹村副議長から議長団退任のあいさつがされ、山田副委員長から閉会のあいさつ、鎌田委員長の団結がんばろうで委員会を終了した。



山本議長

求につなげ、東京交運労協として今一度基本に立ち返り安全を点検し、産別・単組と連携をし、制度・政策要求を求めていくとあいさつがされた。

続いて、二〇一九年度経過報告、二〇一九年度決算報告及び会計監査報告がされ、途中休憩をはさみ、第一号議案、第二号議案、第三号議案を提案され、最後に大会スローガンが読み上げられ、すべて満場一致で原案通り決定した。

役員改選では、反町茂雄前事務局長(運輸労連)が新議長に、東京地本・石井書記長は引き続き幹事として選出されている。

# 入社おめでとございます!

国鉄労働組合(国労)はJR各社の中で70年以上も続く歴史と伝統の労働組合です。JRの前身である国鉄(日本国有鉄道)の頃から続く労働組合です。

『JRで働くなら国労』に加入しましょう。不安なこと、心配なこと、ありませんか? 『労働組合』は、社員の皆さん一人ひとりが力を合わせて、明るく、働きやすい職場を目指しています。

## みなさんの加入をお待ちしています!

### 労働組合に加入しましょう!



## 国鉄労働組合東京地方本部

### 新採加入ポスターコンクール

神奈川地区本部の作品



表彰を受けた佐藤書記長



入選 久保田さん

佳作 宇塚さん



表彰を受けた長瀬委員長

## 春闘標語コンクール 入賞作品

入選 明るい未来に向かって強い絆で団結し 要求貫徹に全集中 決めつ(鬼滅) けるぞ

みなで勝ち取る二一春闘

久保田 清史 大宮総合車七分会

宇塚 史明 大宮総合車七分会

佳作 炎の闘い二一春闘

## 東京貨物協議会第33回定期委員会(書面審議)

東京貨物協議会第三三回定期委員会(書面審議)が一月二十四日東京地方本部会議室に於いて開催された。森岡副議長の司会ではじまり、委員長長に大井機関区の大石さんを選出。東京貨物協議会長島議長から、貨物会社一〇期連続の黒字を確保、その背景には新規採用の抑制、効率化施策が進み職場では、要員不足が慢性化している。職場の声を集め、要求の多数派から、組織の多数派へ向けた取り組みが重要とあいさつがされた。

続いて東京地方本部石井書記長から情勢報告がされ、委員からの書面発言では「一昨年から組織拡大、加入した仲間が次の目標を掲げ更なる組織拡大を実現している」「ベテランの社員の退職がある中、ほとんど経験の少ない社員で、業務上不安である」「残業のため、超勤時間が増えている。保存休暇が限度いっぱい、毎年年休をながさなければならぬのが実態」との職

## 中央支部第34回定期大会「解散大会」を開催

二月一〇日一八時二〇分からJR新宿ビル九階会議室にて、東京工事事務所分会・東京電気工事事務所分会・東京総合病院分・資材センター分会・乗車券管理センター分会より選出された六名の代議員で開催しました。

議長に南澤代議員(東京工事事務所分会)を選出し、経過承認と支部解散、財政等の議題を議決しました。

中央支部は、一九八七年一月に本社・東京・東京施設・東京電気の四支部で結成。委員長は初代に石原村司(以降敬称略)、大谷一敏、波能秀幸、望月英征の四名。結成以来三三年間、闘争団の解雇撤回、地域共闘、反原発、平和、護憲の闘いを中心に取り組んできました。

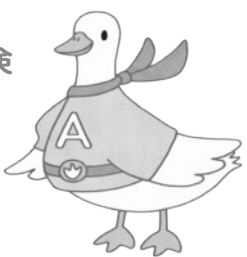
中央支部での取り組みを新支部へ引き継ぎ、国労の存在意義を職場・地域に残していきます。(中央支部より)



あいさつする長島議長

### がん治療を幅広く まとめて保障するがん保険

#### NEW! アフラックの 生きるためのがん保険 ALL-in



### No.1

アベニール株式会社  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック 東京第二法人営業部  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル19F  
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658

生きるためのがん保険Days1 ALL-in

保障期間:終身(がん治療付金・がん先進医療一時金は10年更新)

▽上記内新生物は保障の対象外

治療付金 所定の手術・放射線治療・抗がん剤治療・抗がん剤治療・抗がん剤治療を受けた内

【特約付金(10万円以内)】10万円(通算600万円まで)

がん先進医療付金 1回につき 先進医療にかかると自己負担額と同額(通算2,000万円まで)

(上記に加えて、がん先進医療一時金 1年間に1回限度 15万円)

診断 一時金として がん 50万円 がん 50万円 がん 50万円

入院 1日につき 10,000円

通院 1日につき 10,000円

特定保険料払込免除 入院や通院が所定の条件に該当したとき以後の保険料はいただきません(保障は継続します)

ニーズに合わせて特約をプラス! 治療に伴う外見のケアに備える(保険期間:10年更新)

外見ケア特約

契約年齢:0歳~満85歳まで

10年更新

月払保険料【団体取組】

左記プランの場合 解約払戻金(タイプA)定期付金(タイプB)がん先進医療一時金(タイプC)は10年更新

特定保険料払込免除特約付き

契約日

20歳 2,223円 2,223円

30歳 2,953円 3,214円

40歳 4,454円 5,248円

50歳 7,447円 7,031円

60歳 13,282円 8,661円

2020年3月23日現在

■専業代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

アベニール株式会社

〈引換保険会社〉

アフラック

東京第二法人営業部

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階

TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658

P19437 AFF-01-2020-0059-2007029 2/31